

● 診療科の特色

緩和ケアとは、重い病気を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアであり、多職種から成る緩和ケアチームでのアプローチを原則とします。

当院でも 2006 年から緩和ケアチームが活動していますが(緩和ケア推進室)、2016 年 4 月から緩和ケア専従医師による緩和ケア内科の診療が開始されました。

- ・がん患者のみならず、非がん患者の疼痛等にも対応します。
- ・外来では、がん治療中の方、身体症状の緩和が必要な方を対象に、予約制で診療を行います。
- ・当院の入院患者であって緩和ケアが必要と判断された方については、主治医からの紹介を受け、原則として緩和ケアチームで介入します。主治医と連携を取りながら身体症状の緩和を行い、また、症状や相談内容に応じて専門職種と連携して症状緩和や QOL の向上を図ります。

● 入院診療実績

当院には緩和ケア病棟及び症状緩和専用の病床が無いため、治療主科の入院患者への介入により診療を行っています。

身体症状の緩和を依頼された患者の主な症状(緩和ケアチームの介入は緩和ケア推進室に掲載)

	疾患	患者数
1	がん性疼痛	112
2	気持ちのつらさ・不安	100
3	全身倦怠感	56
4	嘔気、食欲不振	46
5	終末期ケア	42
6	腹部膨満感	27
7	呼吸困難感	20
8	非がん性疼痛(慢性疼痛)	13
9	せん妄	11
10	便秘	10

● 研究業績

学会

- 1) 宗教者である患者のスピリチュアルペインへの対応が困難であった一例を振り返る

宮武和代、佐藤晃子、岸口武寛、藤原慶一

日本死の臨床研究会 第 24 回 中国・四国支部大会 in Okayama

2024 年 5 月 19 日